濟南警備の

引機ぎ交渉進む

大田設電」外海省入電に使れば原南に続ける委員会

学、白兩名のみに非

こに 減く一切のものを討伐す、と

撲口事件發生の

排日記者を

顧問に

國民政府任命

保留附批准に

共議が出れば

一効となる

民政黨總務會

視さる

分形津銭の急行で開京することとの投資・銭の時候者が幾年後五時二十一年後四時候者が幾年後五時二十一年の時代の時代の場合の場合では、

首相歸京

南京事件は伊支案と同じ

日支間の意見一致

蔣氏通電を發 馮氏征討を暗示

氏就任 参謀總長に何

「南京八日設電」何間飲氏は李 栗氏の後を襲うて多謀總長たるに 東氏の後を襲うて多謀總長たるに

を設いするのの成績は 多く思し、 の数字を変形では過去から既に此事るりの数字を変形が東洋にかけるが、回復し、 の数字を変形が東洋にかけるが、回復し、 を設いしば、実践的の一部を分外では、 れてはならぬ、更にまたことを忘

員には新宛御苑の葬職

で常の如く仕事を始めた冒麗明したで、 一覧の秘書官は本日閣下は領領快艦を とンデンブルグ大統一 で、 これの で、

辭令(東京九日發電)

文排在動を命ず 公使他二等 審問 見見 領事 柴崎 白尾

ーゼンセン氏(丁抹領事)

山東派遣軍

資金三千萬圓で

鞍山製鐵所獨立

開東廳、拓殖局の承認を經て

目下大蔵省で審査中

輸送計畫 愈廿一日から

東京九日愛電」は東京九日愛電」は東京九日愛電」は東京九日愛電」は東派出部隊は「元子子」であるが大便左の如こととなってあるが大便左の如こととなってのあるが大便左の如こととなっている。 高利に挑戦す。足もとは大丈夫か 武規変動服の勢ひに乗じて養君

大き電九日後一点配送者間照氏が中央政界を贈る」ととの不利いとて質問から送を否認しま場響によりの一般に一切田中は相の歌中に開せしめんと興望し運動しつ」もつて業別が面の人心に影響を興ふりれてあるもので来が何人と るわけであつて山本氏自身として るとは好ましくないとて殿に政の知道相談低は弱い底定のを帯びて海域部長に遺伝せる以上、より新相談低を持ちかけられてもなるのの近くに傷へられてる 自らの指令を管理するに悪心が力 でるるほどであるから近く首相は大きのの近くに傷へられてる 自らの指令を管理するに悪心が力 受験するや否認しま例とは山本氏の周囲の人々が するは外にす器も他を顧みる選な 山本満鐡社長は **始殖相就任内定説は** 其の周圍の策動のみ

本金三千萬國として新獨立合献と

岡滿鐵理事談

「東京九日登電」航空を観ります。 の分離室は既に開致機、病殖局の 本交渉を進めてある を解て大阪省に開致機、病殖局の 本交渉を進めてある にている。 にている。 にでいる。 にでい。 にでい。 にでいる。 にでい。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 に

で居て、現所職もまた合成すべで居て、現所職もまた合成すべ、氏の心

ことは許すべきでないが、福

つへて既に衆

を を で につき状態一造外監験司令部 を につき状態一造外監験司令部 にのませんが、のは にのまれば、 にのまれば、

司令部歸滬

第一遣外艦隊

は無かつた。

戦條約と 內閣改造問題

大任を帶びて來連した人

木下長官 十五日歸任





「東京九日設電」徳川喜久子郷と皇弟高松宮殿下との御婚後は八日を見て御内交渉を 「東京九日設電」徳川喜久子郷と皇弟高松宮殿下との御婚後は八日を見て御内交渉を 「東京九日設電」徳川喜久子郷と皇弟高松宮殿下との御婚後は八日を見て御内交渉を 「東京九日設電」徳川喜久子郷と皇弟高松宮殿下との御婚後は八日を見て御内交渉を 「東京九日設電」徳川喜久子郷と皇弟高松宮殿下との御婚後は八日を見て御内交渉を 「東京九日設電」徳川喜久子郷と皇弟高松宮殿下との御婚後は八日を見て御内交渉を

戦跡を騎乘見學

四月一日から開かれた「続空四月一日から開がれた「続空回風水子の飛行場を会が、いたこととなってある。随ち大連を

第一艦隊の乘組員が

けふ二班にわかれて

道路を自動車や部所前にて散會旅大機電目動車停部所前にて散會旅大

苦力の豪遊

紙幣を偽造して

小洋でつり錢をこり

に細君が吃着したと

四月九日

で、 ・ で、 、 で 、 、 で、 、 で、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 、 、

大連署に檢學さる

獨フ將軍死去

徳川家から正式に 宮家に御囘答する 三陛下の御裁可は十四、五日頃

新駐第十六師 司令部けふ來 高粱畑の満洲は馴染深い

皇太后宮より

台覽蹴球戰

試合次第

た二名の者が捕縛された「暴弾とピストルを

て雲月禮讃の聲

界の至實さ

天下に満てり

・中台電ラ式職様の服作は左の如

三生 軒

万を特に御告録のかい前別の御手数のかい前別の御手数のかりませます

……四月十日より十六日まで……於二階

◆…テリー 宋電に依れば分類印度 整合に於て膝長ベデル氏が立つ でである。 でである。 でではんとする時間をおって ではない。 を出し、 と出し、 と出し、 と出し、 とれば、 ではない。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではな。

天中軒雲月が古今獨歩の藝術 一代の大天才 全浪界を席 捲し今や斯

りる日十月四 間 日 四 演開時六後午夕毎

勝田新左衛門 安兵衞婿工

日本橋タクシー 初日讀物

湖月の女將も其の一人 が殺到 口頭辯論

然《於學院明事實特許 獨立自活の捷徑

告急

英

在大連の小威民に海寒思想を普及来航中の第一艦隊及第二艦隊では 意味で各小中塵校にて講演

がり

通 信 設責 授任

ジョン・デヴィス崇升年経験東京西大人保五二九版組へは異有月電教授も子規則

京鮑町上二番町九〇農薬教育會祭見水通岩

簡易禁煙法

定誌四五〇四六番・四四八九〇番

語

十グラム、昨日と触りなし

手形金請求

ゼフア地 製造になる斬新なるもの……… 春。ワイシャツ 特價奉仕! 一圓五十錢均 自14 至十 NANIWA YOKG

見を仰ぐため 對戰

朱劍道各試合

軍模範的

松宮殿下の台等

いに緊張す

各の銀道は高野茂統の南氏が

観覽者に注意

乘組員の

注意し、出場

西日の試合こそ

ポンジー地・シルク地等豐富フランス製更紗地・ゼフアー地

浪

衛生第一のセルロイド製柄制時代の歯刷子として権威

特件第七六八六五號

命草の界魔窩青

K

新

聞

はの

電話四七六七番へ不配達其他の故障

内容は常にチュープに包容せられ機関ので少量にて足り顔を經濟的なり機関力最も強大にして一回の使用量

るが故に最も衛生的なり

七

特

煉り

長。磨。

見本學則無代送呈既於經過歸女子大學講義發行所

女子

大學

講

指

一、一、学、教養文學を研究するに必要なる漢字は沿んど網羅したれて、学、教養文學を研究するに必要なる漢字は沿んど網羅したれて、一、、故、事、成語和規例の東第多方面に参りたるを以て是れ又敬敬のレコード観響を美敬せり。
一、故、事、成語和規例の東第多方面に参りたるを以て是れ又敬敬のレコード観響を美敬せり。
一、故、事、成語和規例の東第多方面に参りたるを以て是れ又敬敬の「一、漢字の「一」所要の漢字の何の眉何の傍にあるものなるかを知るに苦しむは很響者の常なれば本書は此歌に研究を重ね所要の漢字の個れの部首に属するを知らざるは現代を重ね所要の漢字の「一、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、漢字の「一」、表も必要なれば本書は此の響に見出し得るやうであませると知らざるは現代人の通弊なれば本書は、と知らざるは現代人の通弊なれば本書は、となって、一、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字を表し、文字

成蹊高等學校教授 志田義秀先生共編

名7波レナク五十青順ニ列撃シ 文献ニ徴シラ、語原・和名漢字・

旅蹤高等學校教諭 田中撤 翁先生

特價參

报替東京七五○香東京•京橋•元數省屋町

會株

装和

四月三十日迄 本邦唯

牧野博士監執筆 監禁 本動物圖 博士 對共著 啜ത 紅西 五六 八 〇 百 章

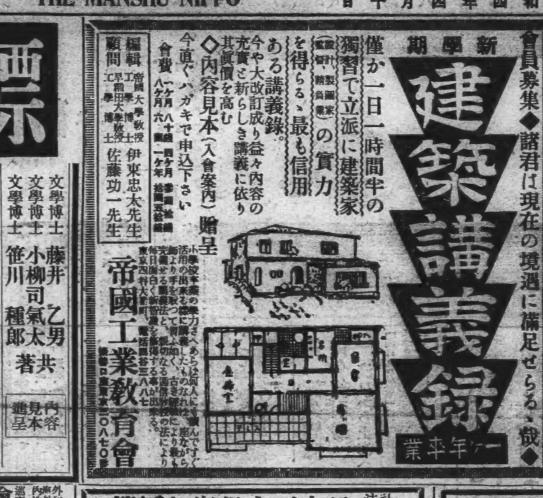
資本金

企連市母

進見內 呈本容

巡查養成講義錄

(日曜水)



義



清

鮮

な

3

!!

默色

春の帽子:



小师文學博士 生生活の 共著 昭和新版

職等手五百餘校の権威 自 0 部 は

記念大特賣

Ξ

與設ム及 市行

事·女

法

文

治

捱

濟

中各 込沫

大美

豐

始期

遞試

第三種受驗

== o= ==

支店所在地

春期新學年を開始す。 腕の名聲を獲得した。 一昨年創刊以來、雖想的遞試準備機 者は速に本講義に就けし 今囘愈第三囘 電氣技術者に

出早

版稻

部田

發大

振替 東京一一二三

た人ほど出世も

早いのです。

込

る事は更にない。一日も早く利用し に依つて勉强する人には人學難もな 旁ら勉強したい人、獨學で甲種商業 学校に行かずに僅かの費用で仕事の 心したのが本講義録です。 子校卒業の實力を得たい人々に一番 **豊間貮拾銭・一ヶ年修了** 不景氣を怖る だから之

錄田 は解決され

た!!

速

并屬十二郎

講早



対番コク

在留邦人の家

主を取調べ拘禁

その成行注目さる

きのふ旅順

・乗組の准士官連 戦跡を騎乗見學した

B

本日午後開倉をの如く

局 明部長 劉 蘆 雕 與 果 夫 與 斯介石

南湖財政整理

引不能に陷 **支那側の雑穀差押** 特產 日本側善後策を協議 3 へで

産市場に大恐慌を起し取引不能の狀態に陷つたいかの雑穀全部を差押へるに至つたので北満特別に撃支那路警處當局は大豆、豆粕、豆油を除く 事は瀬姫側と緊急會議を開き善後措置につき協議中である と交渉中であるが、 九日商業會議所において八木總

口支交渉を續行 四日上海に於 周龍光氏の病恢復せざる場合

配官南京に至り之が下打合せを織し十四日上海に於て芳澤、王正廷氏間に横行されると『上羅入日發電』南京美口事件に開する日支交渉は周龍光氏の病恢復せざる場合は十日組内醫・上羅入日發電』を表示して、 蔣介石氏を

方澤公使と王正廷氏

殿が遅れたよめ豫定の如く實施すれてるるになってるるにからはらず網府路、常苦城に

齊に

和二年から六ヶ年間の縄渡事業と十大連市人口の増加に保ふ飲料水の大大連市人口の増加に保ふ飲料水の大大連市は明瀬

であるが本年度は約百萬戲の經費の二階所に貯水池を選定し着工中の二階所に貯水池を選定し着工中の一個所に貯水池を選定し着工中の一個所に貯水池を選定し着工中の一個の影響を以て大連製家屯及王家屯の

けふ午後

一時より大連道場に於て

台 管 聯

合艦隊歡迎柔劍道試合

招待者

の入場は午後二時三十分迄

2者は午後三時五十分より 入場隨意

組織部々長に

宣傳、訓練正副部長

執監委員大會で決定任命す

央黨部秘督長 陳立夫同 副部長 何 應 飲 全國

耕地調査を行ふ 世界農業センサスに 我國も参加して

なった

「漢の九日遼軍」

「本天特電九日遼」

「東京の大学」

「本天特電九日遼」

「東京の大学」

「東京の大学」

「東京の大学」

「東京の大学」

「東京の大学」

「東京の大学」

「東京の大学」

「東京の大学」

「東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東の大学では、東の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東の大学では、東の大学では、東京の大学では、東の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東京の大学では、東の大学では、東の大学では、東の大学では、東京の大学では、東の大学では、東の大学では 奉天から蔣氏に 彈藥を供給 迫撃砲彈小銃彈等を 既に天津を經て發送 定である。石に就き消水技師は語で類家中の模堤工事を完了する種

第一遣外艦隊

司令部引揚

漢口から上海へ

挑南にも飛び火す 八に對する迫害

加へないが最には数化の例もあり今後支那宜悪が如何なる無度を取るか不明であるが在留野人を形人との関係を展調べた上文値これを拘禁した、居住野人に對しては未だ立道き其他の配道は野人との関係を展調べた上文値これを拘禁した、居住野人に對しては未だ立道き其他の配道は一般南公安局では三月初旬襲撃良氏の命令であるとて日本人に家屋を信興し又は土地を費るいか。 辞籍を登録では三月初旬襲撃良氏の命令であるとて日本人に家屋を信興し又は土地を費るいか。 対三階五分度く、能大の合法では 大十四萬坪の貯水池に對するもの 大十四萬坪の貯水池に對するもの 大十四萬坪の貯水池に對するもの

港の滯貨

家屋の貸與を嚴禁

肌空郵便も扱ふ 常より一兩日早い 料金は朝鮮宛さ同様

一、三等車の改善に就て即ち實際するかけるか しを如何なる型のものにする。

【上海九日發電】内田海軍政務大 管は午後二時管地に到着したが、 管は午後二時管地に到着したが、 で漢はに向ふ豫定である は八日午後八時伊東より修善寺に『修善寺九日澄電』小泉策太郎氏 內田海軍次官 上海に着く 要談 首相、小泉氏 に直り重要なる意見の交換をな、此の調査に當業の機能に融し直轄との間に三時中には其の職権との間に三時中には其の職権との間に三時中には其の職権が対象をは、ひとも同時に 松岡副社長

米地下鐵賃金の **値上申請却下** 师大使外務省

朝鮮教育令の

改正勅令案

政府苦境に陷るか

樞府諮詢が遅れて

ク、インターボロー、ラピツ 本年は百萬圓で 大連の水道工事

に完了の豫定

樂家屯の

本年中に

一直の一方子・ 不配一勝となり 一二〇八三一五 大連商業、沙河口工場 一八七〇〇 大連商業、沙河口工場

運輸改善打合

| Relay a the state of the st 小學校専任醫の 設置の考はある

武田學務課技師語る

院、定されるものと見られてるる。本、あるから結局適便局の此一つ

試合順序決す

9 休職小學校訓等 奧村 俊信任關東州公應等令(六日附)

神戶特產物(九日)

について今後如何なる形式を探でいて今後如何なる形式を探されるの上屋の構造任務の打合せをなしたが 任務機を道部では九日午前九時より

問題された。 一学を表する。 一学として、 一学を表する。 一等を表する。 一等を

見よ、上版に於ける商記を。 時恰も武漢南京間の風異念を告 でる顯材料を整へながら、海南 事件解決の報一度到るや各方面 事件解決の報一度到るや各方面 事件解決の報一度到るや各方面 事件解決の報一度到るや各方面 事件解決の報一度到るや各方面 事件解決の報一度到るや各方面 事件解決の報一度到るや各方面 事件解決の報一度到るや各方面 事件解決の表 ではないか。反日運動は 反素の要求なりと掲書する、任 反素の要求なりと掲書する、任

國民黨第三次

代表大會の宣言

(三)

大會終了に方て發表

ラヂオ英語講座

大連放送局四月十日午後六時二十分放送

講師大連彌生高等女學校茶谷茂

第二回(第二週第二課)

英語の發音

pretty women busy city 記號は(i)である。
7. I e 舌に力を込めて殆んど上顎につく位まで上げ (イー)といっぱ此の音が出る。

に就は(i)の右に點を二つ重ねる。
police fatigue seize piece knee

8. u oo 唇を丸めて口の奥の方で日本語の(ウ)の音を出せばよるし。
記読は(u)である。
pull wool could should worsted

9. u o oo (u) を長く(ウー)と力を入れて引けば此の音が出る。

10. e 日本語の(エ)と同じ發音。
記號は(e)である。
hen head many said says bury

11. o a 唇を少し丸めて稍大きく開き舌を下顎に引きつける様にして(オ)といっぱ此の音が出る。記號は(c)を倒にしたるもの。
dog hot cotton not wont watch

12. c a 口を大きく開き喉の奥の方を横げて(o)を長く引くと舌の位置は稍高まつてその奥の方から(o)の音が出る。
記號は(c)を倒にしてその右側に點を二つ重ねる。
port pork sort wall talk cough

が出る。 記號は(u)の右側に點を二つ重ねる。 rule fruit move pool 10. e 日本語の(エ)と同じ發音。

ものは、悉く局へ臨可能配竹の魔滅大門町の指 所の出來高つゝあるので今回同衆者相關り現 が所の出來高つゝあるので今回同衆者相關り現 大洋建に改める事と決定した旨者 が成立、大洋建に改める事と決定した旨者

質は皆此が種組となった 関は皆此が種組となった

謠言傳り

遼霄省内の

八心動搖

松禍繼續の

6. I 日本語の(イ)に少し(=)の加はつた音である。

の 【南京特信】さきに第三次全域代を開催して中央委員會築務委員九のの「東京特信」さきに第三次全域代を開催して中央委員會築務委員九の中央共務堂に於て委員の就任宣、夫、紫菱倫の中央共務堂に於て委員の就任宣、夫、紫菱倫、于右仁、丁維汾、陳米の中央大務堂に於て委員の就任宣、夫、紫菱倫、大會後に於ける第一大の全體會議議に於て左の如き決定を貸した。は所述は「大會後に於ける第一大の全體會議議に於て左の如き決定を貸した」は所述。

two

隨年大路上

復活を交渉

長春取引所の惱み

満鐵では形勢觀望

とに俟つて吾人は反日運動が なく。之を力行して目的の賞徹 に努めねばならぬ」といふ意味 を言外に或は言内に含めて居る のではないか。

英皇室

0

使

グラスタ

日本に對する道徳的義務と指摘のし、且つその實行に就て多大の低限率直に進営せし所である。既に率直に進営せし所である。既に率直に進営せし所である。既に率直に進営せし所である。既に率直に進営せし所である。

雄辯家、陸軍の宮、スポ ני

プリンス、オブ、ウエールス版

の宮

れが無様で放送され英順氏米ー ・ を給ふて居るのである、又デュ を給ふて居るのである、又デュ 場の御蔵説を遊ばされ、時々そ 動の公文館合に合願ありて、一 では、 の公文館合に合願ありて、 一

方に

ター、ヘンリー親王殿下 例人として御目に掛かっ に親しく御話を伺つた。 に親しく御話を伺つた。

4 木洋行

歌て苦慮するの要を認めない。 は得ずとせば、それは、政府組 機の能力の験如以外の何者でも ない。

を以て職業とする人種の生活を 型は行うなのであるが。 を維持せんとするものは、何處 の世界に於ても罪人である。 理がある。 では、 の世界に於ても罪人である。 の世界に於ても罪人である。 の世界に於ても罪人である。 の世界に於ても罪人である。 の世界になる。

中央執行委員會

常務委員を決定

三全大會後における

第一次の全體會議

所管に移し民衆の所管に移する所管に移する 朝鮮博覽會 出品勸誘

増稅に就て 對策協議 開東廳と満鐵で

は所属官吏に四月より現大洋を以 は所属官吏に四月より現大洋を以 は所属官吏に四月より現大洋を以 奉天城内で

新聞行数五十行 初聞行数五十行 投書歌迎

ドク く除切-

神田 東京

謹峭

車で せう? ら發賣

社會式株スーターモ・ルラネゼ本日

ータ

ゼネラ

べき新



あったが、率票の最落が起に五千 使来から率票の貸出しを励しつ」 現大洋建採用 奉天支那質屋 並顕著に開する一般事務工業原料用領物質質量山の調査、鑑定、経済 鑛業所 設計監督 請 負 大連二葉町七一 盤共 進

御脱りの



空前の快報・

貴金屬際

市中に於ては現状の粉膜を一掃する。 では理事者として不聴質なりと ことは理事者として不聴質なりと ことは理事者として不聴質なりと ことは理事者として不聴質なりと ことは理事者として不聴質なりと ことは理事者として不聴質なりと ことは理事者として不聴質なりと

自分は信託の仕事が忙がしいから商議の問題について深く考へてゐないが、然し長春に於ける所工業の中福機關たる商工會議所があの狀態では誠に寒心に堪へぬ、雨派の議員があゝ感情にはしつて争つてゐてい、折角解決するか判らない、折角解決するか判らない、折角解決するか判らない、折角をいってといってといっている。

鎭江山の人の群

日

約六萬尺締めの需要

通江口の

戎克動く

聯隊歡迎宴會

公主嶺

東京院大教授・山氏・諸一族・自一七十一分の時五十分常急行列車に東京院大教授・山氏・諸一族・自一七十一分の時五十分常急行列車に東京院大教授・山政道氏の特別書 炭礦工務關係の の近くであるが年が起了事。 は

を放くであるが年が試了

の近くであるが年が試了

の近くであるが年が試了

の近くであるが年が試了

るがラフキンの結晶装置そのは

るがラフキンの結晶装置そのは

こ百十萬を要する

に百十萬を要する

に百十萬を要する

であるが思います。

は三年度の工事の完成及びオース

であるが、

に百十萬を要する

に第一次のであるが、

に第一次 主なる新規事業 如くである。 七百七十萬圓を投じ 各施設を改善する

大連將棋聯盟特選

▲水町守備殿司令官 八日本漢湖 上り過率遼陽へ 上り過率遼陽へ 上り過率遼陽へ 八日本澤湖 八日本澤湖

本年度の入學者

◆四二金△五三飛▲六五歩△一四歩▲四三金△五三飛▲六五歩△一三銀引▲二二飛△三一金・二四飛五△三三歩▲二四龍五△三三歩▲二四龍△四二春

れたもので、

肩のコリ、

腰痛を回復せしめ、

くが如きものがある。

の健全を促し、

腦神經衰弱

ちうき

ステリー、心悸亢進症、頭痛、

等有殖海草の精粹を抽出し、之を基本として創製さ

であることは斯界の定説であります。「海貴來」は高

これには海草精剤の服用が最も安全であり有効

ります、

血壓の病的昂進によって血管が破裂し、瞬

中風症の原因は動脈硬化による高血壓であ

時にして幽明境を異にするのであります。

即ち脳冷

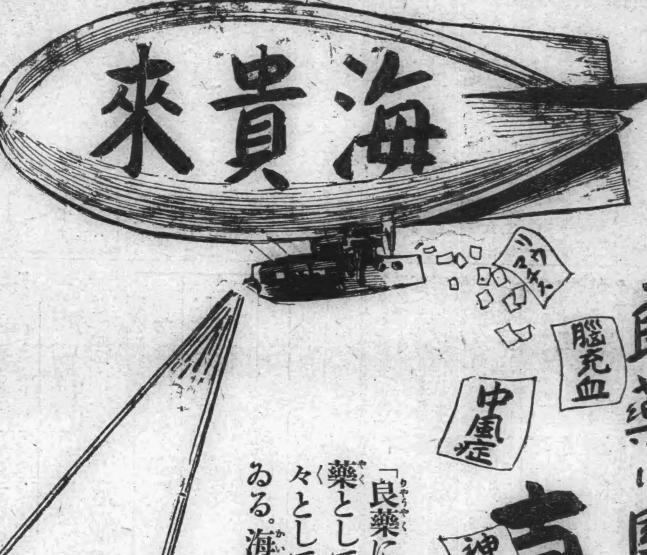
壓を降下せしめ、動脈を軟化せしむることでありま

自覺症状(てすぐ海貴來をのめ!) 脳溢血中風症の

中風症の恐るべき老衰病を防ぐ唯一つの道は血

腦溢血、

突如として襲來し壯年季の貴重なる生命を奪ひ去る



ゐる。海貴來 良藥に國境な 真効の二字に盡きるので は何故にか し」恐るべき老表 ら解放され春 ないか!! 病たる動 憂ある人は 煩悶か は治療 は て

人は勿論壯年季の人にも絶好の治療薬として好評湧 硬化症及び血壓亢進を原因的に下降せしめ、中風、腦 子を新聞名記入御申込のがへは無代進呈致します。一病理に聞しては治療及像防を詳しく説明した「健康への道」と云ふ 本劑服用によって早發老衰病たる動脈 腦充血を治療し、又一つは神經系統 神經痛リウマチス、 副作用全くなく、 ○英稿臂を併發すると蛋白が下り尿毒性を起し易く手足や極いである。のほせ易い、どうき息切れがする。の情が悪い、精力性熱が衰へる、感情が昂雪するの情が悪となる、しびれ引つりがする、小便に近いの不眠症となる、しびれ引つりがする、小便に近いの不眠症となる、しびれ引つりがする、仮通が少い 衛出意を乞ふ、慰賞來は確る健信出ある繁店にて販賣す萬一品切の時は類似品を用ひの高評を受け参数の實識者と多数の膨脈狀を有す、近頃海貫來の偉大なる整備を喪みの思い、 の高評を受け多数の實識者と多数の膨脈狀を有す、近頃海貫來の偉大なる整備を喪み 注意 一が昻進して百五十ミリ以上となる 日本總發賣元 氣がくる となって頓死するから急ぎ海貴來を服み安全からいふ容態が積き之を放任すると途には 東京市本鄉區菊坂町五十二番地 入四臓、六百四十八錠八六臓、千二百錠八十一四ある薬店にて販賣す萬一品切の時は類似品を用い

州生高女旅行幽 佐藤満洲野

来て私達の飯を祝福して見れてよ風に香り味しく車窓を訪れて

「扇の芝」の老松は古英雄の社

しかし旅石に満水の舞歌に立つ の秋を想像したり、管砂の離の の秋を想像したり、管砂の離の 自い三條の線を引いてあるのを

烈な振期を思ひ出さして皆一権

老松の間に見える夢の色も続さ

てるた。

皆の館には疲勞の色が強く現れ

り出した雨を、おかして清水寺 午後三時、折しもしと!

見國母的行旅

を記される。 思議に思はれる。 思議に思はれる。 とである。 とである。

新緑濃かな

宇治方面を探らんと出記したの いっぱいの かれもまだ消え残るに早

が八時代、三條大概のほとり が八時代、三條大概のほとり なごやかな無心の観である。 たごやかな無心の観である。 で治行の電車に乗る。心地よい で流がたががかしいと思った。 の位の電車が欲しいと思った。 が成れ方に行像よく平行して返 である。 が大時代、三條大概のほとり を変から郊外の景色を眺めると

を流れてるる。 を流れてるる。 を流れてるる。

風景をそよいだ。

有名な難嫌物、藤原氏全路時代の別がある。 一歴史で習った

のもので九百年を経つてゐるこ

学治の軟化を心行くばるり、 に繋を映してゐる。 右手に見え を繋が、第1883子の御聖とか聞 を繋が、第1883子の御聖とか聞 を動かな。 学治の軟化を心行くばるり、 はい動かな

の便乗の方から詳しい説明を聞の開致を目のあたり見つ、其職

四人の笑ひ襲があたゝかい部屋

にゆらいでるました。(をはり)

學的

学校

2

れどみちとちゃんのおづるさん

下さるでせる、ね一郎さん」

「おばよ。しばよ。金杉よ」「おばよ。しばよ。金杉よ」

できなら、明日ね」

びにいらつしやいつて云つたんだもの、そして秘密もう行きますつて云つて来たの」

の家の前まで来てゐるのですぐ

跳れたくないナーお続さんの

れねばなりません。

けました。角のお家の人はやつ

さまで家庭を中心として狭い節

るのは、如何にも耐白いことの

よ質い場所で大勢の友達と至は 国で遊んでるた子供が単校とい

る興味を持つことは必要ですが、よく教師に慣れ親な學問に對す

交友上の注意

競度となく職場になつたのが不

四人になりました。其れも角

はなしてサョナラくと別れて道の角まで來ると一人と大手を

もよくつてやし

「だつて角のお姉さんきつと滋

友だちや先生に

闘してのいろり

一の注意

ものです。たとやめよとか、さ

千

葉八

枝

教師に對する心得

「聞さん……触のお家へ行つて

新入兄童の

お母様方

(三)

とい言葉を與へると干供は知らない言葉が思いときは、それに代る

また子供の好んでやる遊びなり

影を見い見いかへる。

なけれや、叱られるから……

なに見て、かへろ かへろっかへろ、と なると聞さんにお目玉だ」

てはなさないのです。

しなば茶

怪火山

世界一の

弟が一郎のうでをしつかり握つ

てもう電燈がつきさられ、やめ

賞童話

かればく手をくんで居るのが、 「オツホツホ」お姉さんだけ特 んなでワツハツハと席をそろへ 笑ひました。

しまひの「かへろがなくから かへろがなくからかあへろ

た。解説にからつて居たお印さを見てました。一郎とみちとはを見てました。一郎とみちとは 四人の影が二人づゝに跳れまし

「ちや、聞いてね、キットいら 「でも聞って母さんに聞いてこ を受ける。 ローの物連い火山がある。この一の物連い火山がある。この一の物連い火山がある。この人はは世間に数百か幾千か 質に物凄い光景であるといふとなく絶えず噴き出して居て 口があつて、 太不洋のまん中にある布性島 口があって、そこからドロド

居ります。 の容氣をうごかして、窓ざわの

「やあ、三田月さんが出たよ」 面白い支那の繪本を見てしまふ と一郎と少年は立つて、ガラス こしに窓を見上ました。 では、現をくつよけて橋本を では、現をくつよけて橋本を では、現をくつよけて橋本を では、現をくつよけて橋本を では、現をくつよけて橋本を では、現をくつよけて橋本を では、現をくつよけて橋本を では、現をくつよけて橋本を では、現をくつよけて橋本を では、また。そし に仲良くなつてゐました。そし 「美口のお月さんもこんなに光 奇の事を知ります。

本の借級の子供の集りですから 中には下品な音楽をおぼえたり 中には下品な音楽をおぼえたり をと良からぬ事を聞き、悪風に も楽み易い危險があります。世 親は常に投子の友達に注意し、 親は常に投子の友達に注意し、 親は常に投子の友達に注意し、 ではずはな子供や、頭の ん。此時子供を数へるのに「それに矯正してやらねばなりませればなりませ 頭ごなしに叱らないで、如何なれは悪いことだからお止し」と 生活や競響の戦った機

「又明日もスケートにさそつてこをして……」

「今日は面白かつたね、鬼ごつの様に見えました。

るわけで點い形だが、よく なければなりません、父母も心を解かけなどを子供の前でして子既の歌などを子供の前でして子既の 禮儀 を失はぬやうにし

文献、說明書贈呈

に知識を交換し合ひ、色々と新いやうです。その結果として豆ひ 大きながではなく、子供を数へであり、数師は子供の遊戯場ではなく知られる神聖な殿堂をさづけてくれる神聖な殿堂をあったさるがではなく、子供を数へであることをよくれへ、親む中にも

はし支那の人でした。 お続さんは歌語の、支那版を着て赤さんは歌語の、支那版を着て赤さんは歌語の、支那版を着て赤さんは歌語の、支那版を着て赤されて居る時、まるでおとぎ

メニキクノニ チガヒナイ、 レカガ オレラ

メニ アワシテャラウートオ シタの ミヅハ オソロシイイキホイデ

テキマシタのソンナコ

大チャ ノタンケン

(36) 2 ル ラ ヴ 當作

チ

肺炎、肋膜炎、氣管支炎

咽喉カタル、盲腸炎、腹膜炎 耳下腺炎、關節炎、乳房炎、腰痛等に 推賞さるる現代の理學的療法なり

使用法簡便、安全巧妙なる處置法

1日1-2回の塗布(交換)にて速かに炎症を去り 呼吸を安靜にし、疼痛を緩和し、熱を下降せし め、頗る爽快の思を與へる。

100元 150元 250元 300元 2000元



大阪市道修町三 發賣元 株式會社 塩野雞 酷店

御申込次第實物を御覽に入れます

親切なるサービス・部分品在庫豊富

夕路 無事果する です ぶでうしゆ 然お役目 夫な母 亡 11 2 0. \$ 5 赤 7 玉を朝き みます つくる



加 速力の快速、 問戦の勝利は優良なる バイ輸送車御使用者の 、維持の經濟は

ピッドソン輸送車に如かず 酒用に在り

會奏演の隊樂々軍海たつだ況盛大

都九日發電】飯塚博士酸表のたる

果京市電バス

行はれ四アルファー野零にて立数

国野球戦は八日午後神宮球児東京九日設電』同志社製立場東京九日設電』同志社製立場

鮮妓から失数

故池上總監

從業員怠業

待遇改善を拒絕

熱心に傾聽

艦隊幹部將校を招き

昨日高柳中將が講演

旅を奉伺

「京都特電九日茂」「疾空後間後的 七〇グラムを調配したの容體を影響した伊藤博士は語る 日を絨し軽調の容體を影響した伊藤博士は語る 日を絨し軽調の容體をか變に思はれるが決してそんない。 かめにない、幸ひ渡い室がる ひまんり 大僧に終ていたのでそこへ代つたまでム伯

午後六時容態

全端の先生達が

足袋を横領

陸上競技を行ふ

今秋九月下旬ごろ 三日間にわたり大々的に

素生(一五)は七日午後十一三天神町二〇大町吉天郎かたは手長の支那傭人

は九月下旬ごろば、勝古、第二日は野状は合、第三日のでは、大きでは、一時のでは、大きでは、一時のでは、大きでは、一時のでは、大きでは、一時のでは、大きでは、一時のでは、大きでは、一時のでは、大きでは、一時のでは、大きでは、一時のでは、大きでは、一時のでは、大きでは、一時のでは、大きでは、一時のでは、大きでは、一時のでは、一時のでは、大きでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時のでは、一時

局松宮の御機

替ったまで

地域に軽定の企動での容易 七度一、版殊九〇、呼吸 地域に軽度の浮腫現はれた 明度の浮腫現はれた

伊藤博士語る

主催者はる動か

東麓のまゝ病室を替へた

ゆうべ病室を移

歸還部隊慰勞

重態の後藤伯

聽衆恍 夢の國」詩の國」に彷ふ 番外演奏迄して盛況を極めた

手比を持つてノートしつ あり散合したのは三時件であつ

午後は大賑ひ

当の当田マー | 1000日マー | 1000

一田は出中に動し美代子の身織の小田は田中に動したが、田中 直つて船の間に引撃すやう機論して臭れと小・地景培諭でに引撃すやう機論して臭れと小・地景培諭の上が、田中 直つて船の地域したを再三輪求したが、田中 直つて船の地域したを再三輪求したが、田中 直つて船の地域したが、田中 直のて船の地域という。

一代の大天才

天中軒雲月が古今獨歩の藝術

全浪界を席 捲し今や斯 は遂に堂々

勝田新左衞門

艦隊側

0

語を結び一同は熱心に或は

東京モ ス

学展解決の前途はなほ多級である 選は絶對に歸らぬと所張つて居りは 空、考告、また。 二千餘名を六十三組に分

子供を返せ

「東京九日設電」院館中の東京モ はスリン書館工場の手跡は八日戦乱・を議権したるが、主張は終 はスリン書館工場の手跡は八日戦乱・を議権したるが、主張は終 にが結局報費間に優等に続け、等力しず目下捜査中である。一体 が結局報費間に優等に続け、等力しず目下捜査中である。一体 が制れとなった、会は戦性を等力しず目下捜査中である。一体 が制れとなった、会は戦性を等力しず目下捜査中である。一体 が制力したるが、主張は終 でかは局報費間に優等に続け、第一人 と説権したるが、主張は終 でかれた。 を記述した。 を記述した。 でかれた。 を記述した。 である。 でかれた。 でがれた。 でかれた。 でかれた。 でかれた。 でがれた。 でかれた。 でがれた。 でがれた。 でがれた。 でがれた。 でかれた。 でかれた。 でがれた。 でがれた。 でかれた。 でがれた。 でかれた。 でがれた。 でがれた。 でがれた。 でかれた。 でがれた。 でがれた

並修理大奉仕 木村時計店

親切本位の店 金屬高級品出物

獨逸聚 **價提供**



道

太陽燈を以て照射す

ハナウ太四 第の下に見 十一一日午後に勝まで 線無料照射

して雲月禮讃の聲 天下に満てり

界の至實さ

り 3 日十月四間日 四 安兵衞婿入

着荷新 界各國酒類 * 示■ 各地名 東京風菓子謹製 初日讀物 O 00

生の曲藝の

POST V V

性: 寸 星

からの自身はたと思りったを任みてるが

教徒の相手を田に

をしてから、その支那財役はさませつと内村に願いた。 「きなたは、途中からお出でになっました様ですが、どうですか雷は少しも魅らなかつた。 くには今のは少しも魅らなかつた。

ないものがあつた。 おり とうがあった。 はいまえ、私共にもちつとも触り 彼女は大館に、その前を上げ、そのにとした「地らない形が頭白まるで夢の神から形が出た様に、 ながと言つてゐる始末です」 第日の技能を、 をのがあった。 れ代てゐるではないか。

國産の化粧水

素を強めてから 目だがきりよる 満日畑

を使かに五分間であつたので、場 その時、開発をしらせる気候が に入るものは少かつた。 概念服の灯は触を抱される歌が 性の支那科技も、その主人彼の 大類に上つた。 概念解の灯は触を抱される歌が はの支那科技も、その主人彼の 大類に上つた。

ひなげしの花(日)

は日本

美しさをもたらす 女神のやらに 春をもたらす



戦力まけを防ぐ

お自物のトキ水によく

きめを細かにし

素肌をととのつ

粉おしろい下に 日やけを止い 肌あれを防ぎ



0





この。株 たらは飯間にるるの 薬山百合子の、陽ましき迄の美です」 かの支那所校はなく をかき乱すばかりであった。 一世、いつ頃から満洲においでと地に、彼女の解除が大鶏に寝へ組める 一世、いつ頃から満洲においでと地に、彼女の解除が大鶏に寝へ組める をかきました」 しかきました」 しからました」 しからました」 であんとする白鳥の心は、しきりになりました」